

① 制度の概要

東京都及び東京観光財団が実施する、**観光バスのバリアフリー化**を推進する補助制度です。国内外から訪れる**障害者や高齢者が安心して都内観光を楽しめる**よう、観光バスへの乗降用リフト装置の導入を支援します。通常車両との価格差額を補助することで、バス事業者の負担を軽減し、東京のユニバーサルツーリズム推進を図ります。

補助対象は大型・中型・小型バスの3区分で、車両サイズに応じた**補助上限額を設定**しています。申請は令和8年3月31日まで隨時受付中ですが、**予算額に達し次第終了**となるため、早期の申請が推奨されます。郵送とJ Grantsによる電子申請の両方に対応しています。

② 支援内容

□ 大型バス

乗車定員11人以上かつ車両全長9m以上、または乗車定員50人以上の車両

最大800万円/台**補助率：10/10**

□ 中型バス

乗車定員11人以上かつ大型車・小型車以外の車両

最大500万円/台**補助率：10/10**

□ 小型バス

車両全長7m以下かつ乗車定員11人以上29人以下の車両

最大300万円/台**補助率：10/10**

③ 補助対象経費

- リフト付観光バス等導入時の通常車両との**価格増加部分**
- 車いすのまま乗降できる**リフト装置またはスロープ**
- 車内の車いすスペース及び**車いす用固定装置**
- 車いす用固定装置納箱及び付属装備等**

④ 対象者

- 都内で営業しているバス事業者等**

※観光バスを運行する一般貸切旅客自動車運送事業者等が対象です。

⑤ 採択率向上のポイント

- 運行計画の明確化**：リフト付車両の具体的な活用予定を示し、**年間運行回数や想定利用者数**を数値で提示すること
- バリアフリー対応の実績**：既存の**ユニバーサルツーリズム対応実績**があれば積極的にアピール
- 車両仕様の適切性**：導入する車両サイズと事業規模の**整合性を明確**に説明すること
- 事業継続性の担保**：**長期的な運行計画**と維持管理体制を具体的に提示すること

⑥ 戰略的分析

【早期申請の重要性】

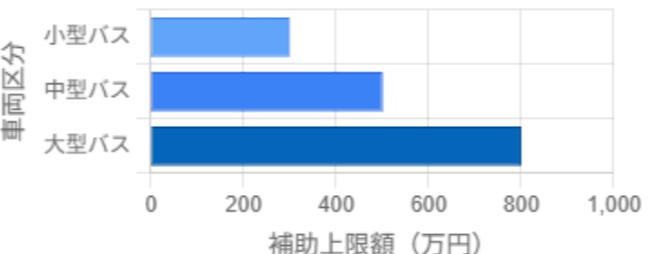
- 予算額到達で受付終了**となるため、年度前半の申請が有利
- 車両発注から**納車まで数ヶ月**を要するため計画的な準備が必須
- 電子申請利用には**GビズIDプライム取得に1-2週間**が必要

【補助率10/10の活用戦略】

- 全額補助**のため、実質的な事業者負担なしで導入が可能
- 複数台の**段階的導入**により、バリアフリー車両の段階的拡充を実現
- 観光需要の**繁忙期前の導入**により、早期の収益化を図る

⑦ 車両区分別補助金額

車両区分別の補助上限額（補助率：10/10）



車両サイズ別の補助上限額：大型800万円、中型500万円、小型300万円

特徴：全区分で補助率10/10（全額補助）のため、事業者負担なく導入可能

⑧ 効果的な活用シーン

活用シーン	推奨車両区分と期待効果
団体観光ツアー	大型バスで多様な旅行者に対応、 受注機会の拡大
空港送迎サービス	中型バスで効率的運行、 インバウンド需要に対応
地域観光周遊	小型バスで小回りの利く運行、 地域密着型サービス
福祉団体送迎	全区分対応可能、 社会貢献と収益の両立
イベント輸送	大型・中型で対応、 多様なニーズへの対応力向上

⑨ 専門家活用のスメ

- 車両選定のアドバイス**：事業規模に応じた最適な車両区分の選定支援
- 申請書類の作成支援**：運行計画や収支見込みの具体的な作成サポート
- 車両メーカーとの調整**：仕様確定や見積取得の円滑な進行支援
- 事業計画の策定**：導入後の効果的な運用計画の立案支援

⑩ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
補助金交付申請書	<input type="checkbox"/> 事業計画の具体性 を確認 <input type="checkbox"/> 導入車両の仕様を明確に記載
車両カタログ・見積書	<input type="checkbox"/> 通常車両との価格差 を明示 <input type="checkbox"/> リフト装置等の詳細仕様を添付
事業計画書	<input type="checkbox"/> 年間運行計画を数値で具体化 <input type="checkbox"/> バリアフリー対応の必要性を説明
営業許可証の写し	<input type="checkbox"/> 一般貸切旅客自動車運送事業の許可 <input type="checkbox"/> 都内営業の実態を確認
会社概要・決算書類	<input type="checkbox"/> 事業の継続性を証明 <input type="checkbox"/> 財務状況の健全性を示す

*このレポートは生成AIにて作成されています【2024/10/30作成】

⑪ 申請スケジュール

● 事前準備期間

GビズIDプライム取得に1-2週間を要するため、電子申請希望者は早期取得が必須
車両メーカーとの仕様調整・見積取得に1-2ヶ月程度

● 申請受付期間

2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）
郵送は当日消印有効、J Grantsは17:00締切
※予算額到達で受付終了のため早期申請を推奨

● 審査・交付決定

申請後、審査を経て交付決定通知を発送
(審査期間は申請時期により変動)

● 車両発注・納車

交付決定後に車両発注
納車まで数ヶ月を要するため計画的な発注が必要

● 実績報告・補助金交付

2026年3月31日までに事業完了・実績報告が必須
報告書審査後、補助金が交付されます

⑫ 問い合わせ

制度詳細 <https://www.tcvc.or.jp/jp/project/infra/bus/>

申請システム (J Grants) <https://www.jgrants-portal.go.jp/>

事業全般 東京都産業労働局観光部受入環境課（代表）
TEL：03-5320-4802

申請方法 公益財団法人 東京観光財団
観光産業振興部 観光インフラ整備課
TEL：03-5579-8463
受付時間：9時～17時（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）